



MWE LAB 社 Emperor 1510 ユーザーガイド

2011 年第 3 版

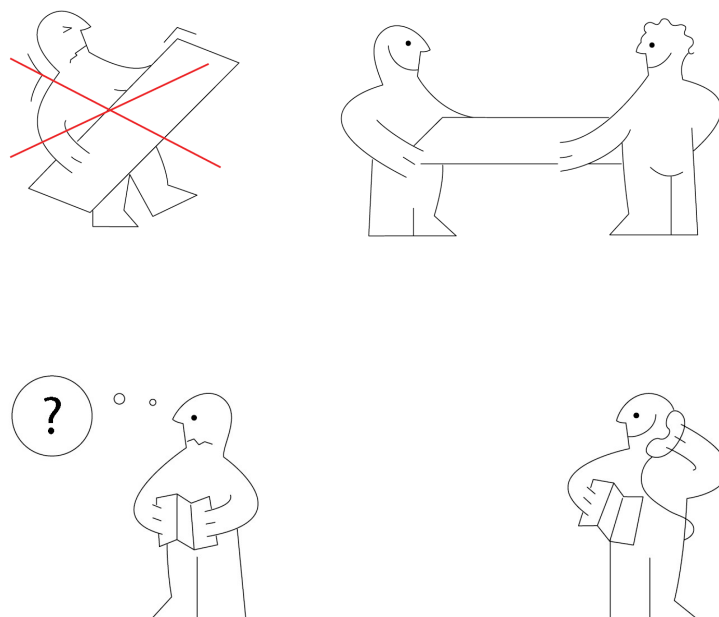
製造・サービス：



MWE LAB 社

輸入販売元：

モダニティ（株）
東京都港区東麻布 1-23-5
PMC ビル 3 階
E-mail : info@modernity.jp
HP: www.modernity.jp



目次

1 Emperor 1510を安全にご使用頂く為に	3
2 開梱	4
3 組み立て - サイド・ウイング	6
4 組み立て - アーム・レスト	7
5 組み立て - キーボード・トレイ	8
6 組み立て - モニタ・マウント	9
7 組み立て - 【重要】中央骨の接続	11
8 組み立て - レッグ・レストの調節	13
9 組み立て - モニタの追加 (3台接続マルチモニタ環境の場合)	14
10 組み立て - フロント・プレートの固定	15
11 Emperor 1510のご使用方法	16
12 メンテナンス	17
13 サポート・センター	17

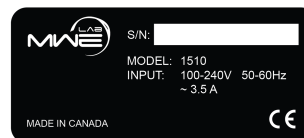
1 Emperor 1510を安全にご使用頂く為に

Emperor 1510をご使用になる前に、必ず、以下の注意事項をお読み下さい。

- 使用前に、必ず、ユーザーガイドを読み、ユーザーガイドの記載通りに使用する。
- 水の側で使用しない。また雨・湿気にさらさない。
- ラジエーターやコンロその他の発熱する機器の側で使用しない。
- 清掃は乾いた布で行う。
- 製品に貼付してある安全警告ラベルをすべて読む。



- 安全警告ラベルを剥がさない。やむなく剥がれてしまった場合はモダニティ(株)へ連絡する（E-mail: info@modernity.jp）。
- 大人がいない時は子供に使用させない。お子様だけでのご使用は、怪我の原因になります。
- 使用前に各部品の弛み・傷みを確認し、弛みがあればねじを締め直し、傷みがあれば該当する部品を交換する。ベルトとベルト接続部は特によく確認する。
- Emperor 1510上部の上下動時、および、全体の前傾・後傾時は、可動部に決して触らない。
- 体重114 kg(250ポンド)を超える方はご使用になれません。また、お客様の安全のために、体重114 kg(250ポンド)を超える方に使用させないで下さい。
- ご使用の際は製品の中央部に重心をおくようにする。
- 個々の製品に明記された電圧のみを電源として使用する。



- Emperor 1510上部の上下動、および、全体の前傾・後傾を可能にする作動装置は、設計上、最大連続使用2分まで、また2分間連続使用後は連続して8分間、作動装置を動かさず、また力を掛けしないで下さい。連続使用分数に関する決まりを守らないご使用は、重要な部品の破損の原因になります。
- 個々の部品に関する安全性・使用上の注意やスペックについては、製品に別途同封の、それぞれの製造業者が作成した使用説明書をお読み下さい。

2 開梱

- 順1 - プラスドライバーを使用して、本体梱包箱から部品箱を取り外す。
- 順2 - 包装およびプラスチック・バッグを注意して取り外す。但し上部(1)とレッグ・レスト(2)を接続する包装はそのままにする。
- 順3 - 本体右および本体左から、木片(3)を取り外す。



- A- 右サイド・ウイング
- B- 左サイド・ウイング
- C- モニタ・マウント
- D- キーボード・トレイ
- E- フロント・プレート
- F- タワー型パソコン用固定台
- G- モニタ・マウント・エクステンダ

- 順 4 - 本体両側の下図緑点部をつかんでEmperor 1510を持ち上げ、梱包箱から取り出し、水平な床に直接置き、台の上等に置かない。壁、暖炉、冷蔵庫、コンロ、その他電器機器から、61cm（2フィート）以上離れたところに置くこと。



3 組み立て - サイド・ウイング

- ネジを4本使用し、下図の通り、安定バーにサイド・ウイングを取り付ける。



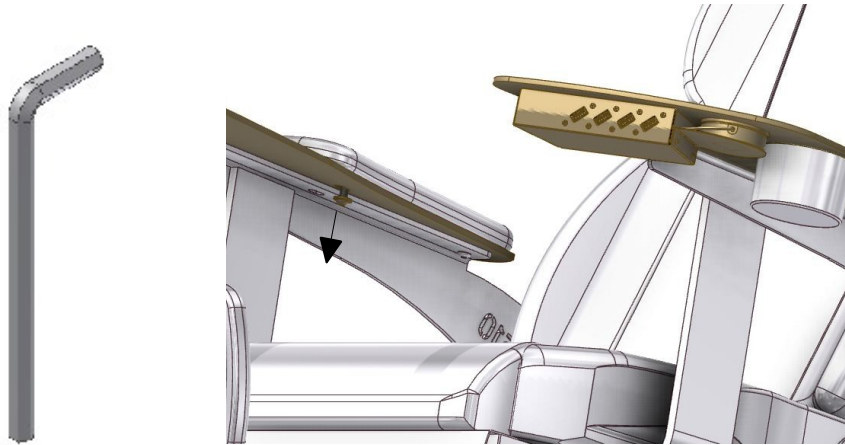
5/16" x 3/4" (7,9mm x 19,05mm)

X4

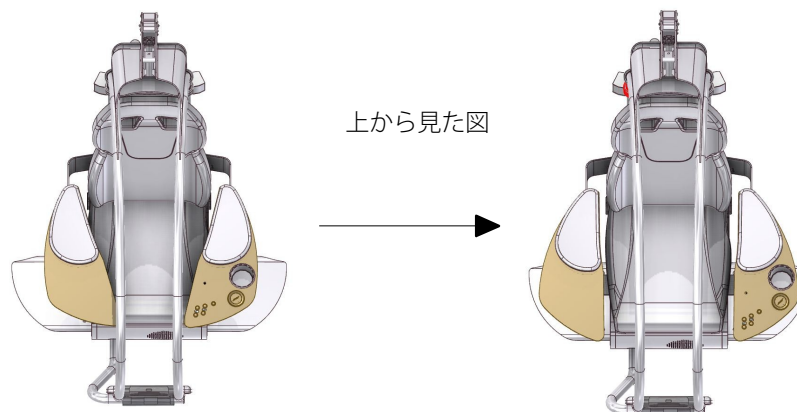


4 組み立て - アーム・レスト

- 順1 - 両側のアーム・レストから、出荷時ゆる目に留めてあるネジを外す。



- 順2 - アーム・レストを両方とも外側へ押し出し、各プレートのネジ穴を、基部のネジ穴にあわせる。

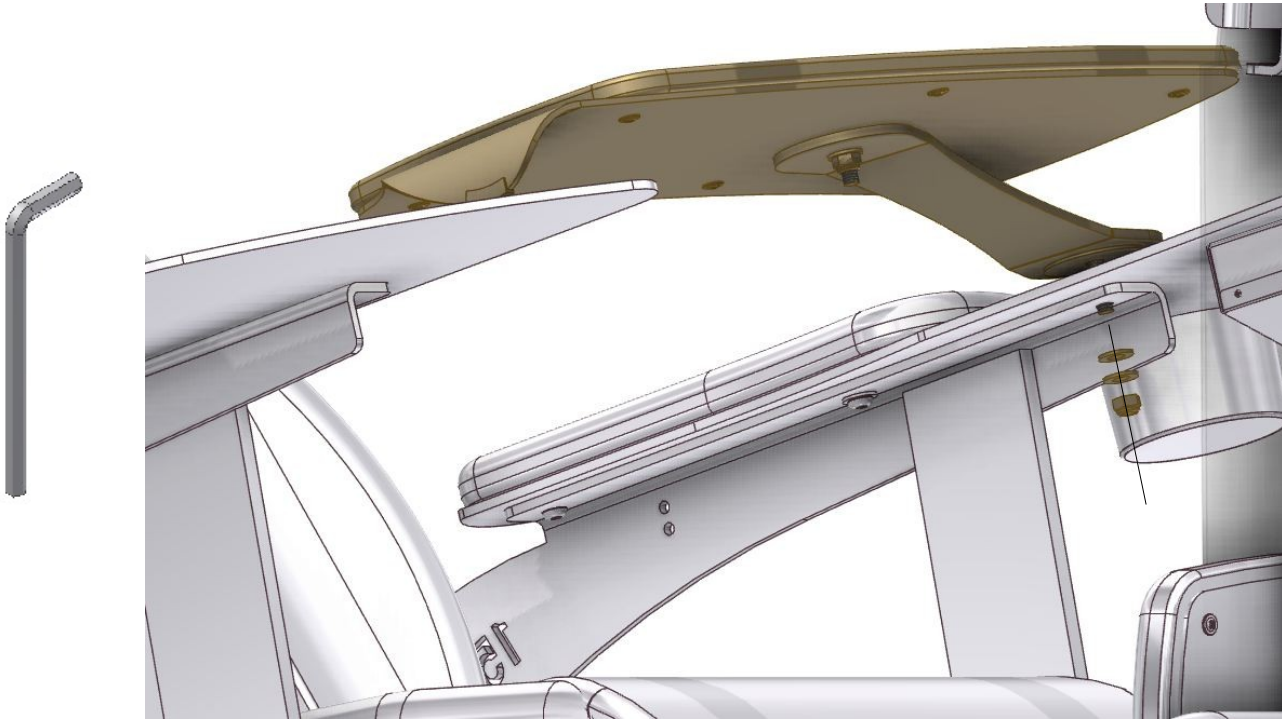


- 順3 - ネジ穴にネジを差し込み、完全に締めて固定する。



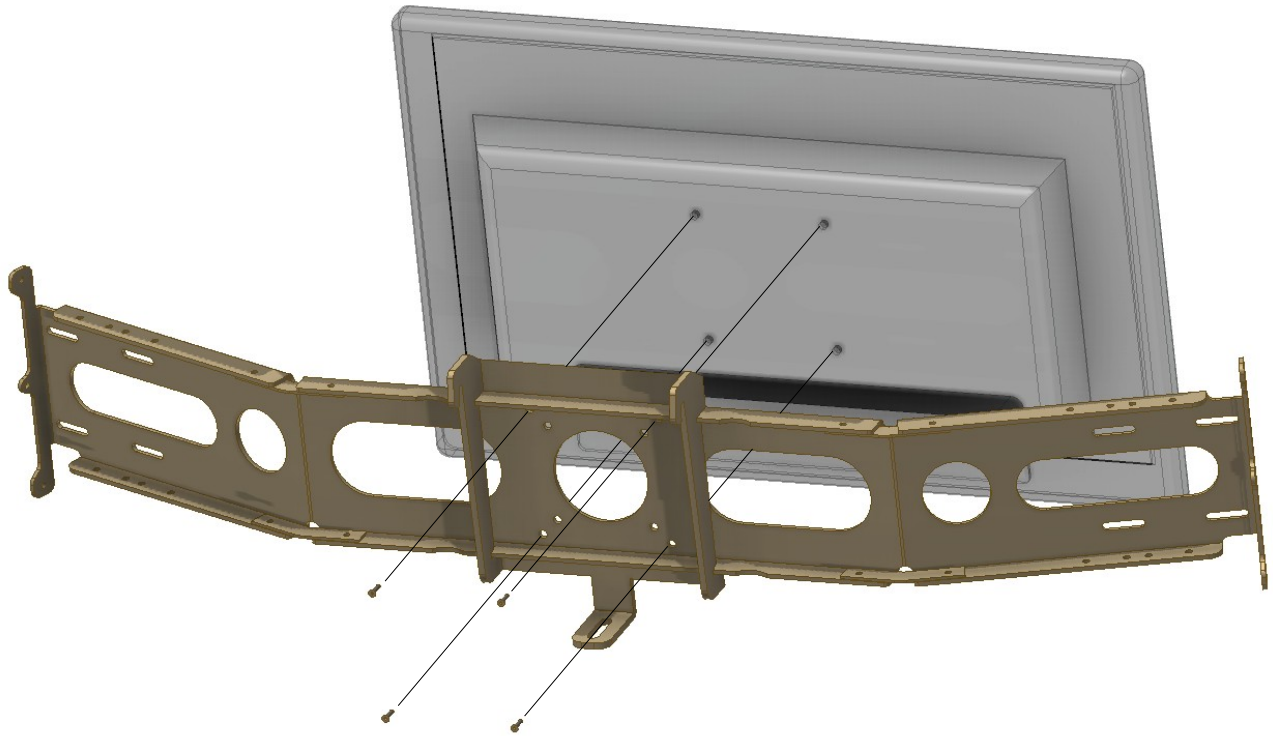
5 組み立て - キーボード・トレイ

- 順 1 - キーボード・トレイのアームを、左腕側アーム・レストのプレートにあてる。
- 順 2 - ボルトとナットを締め、キーボード・トレイを固定する。但し、位置を左右に自由に動かせるように、ボルトを締めすぎない。



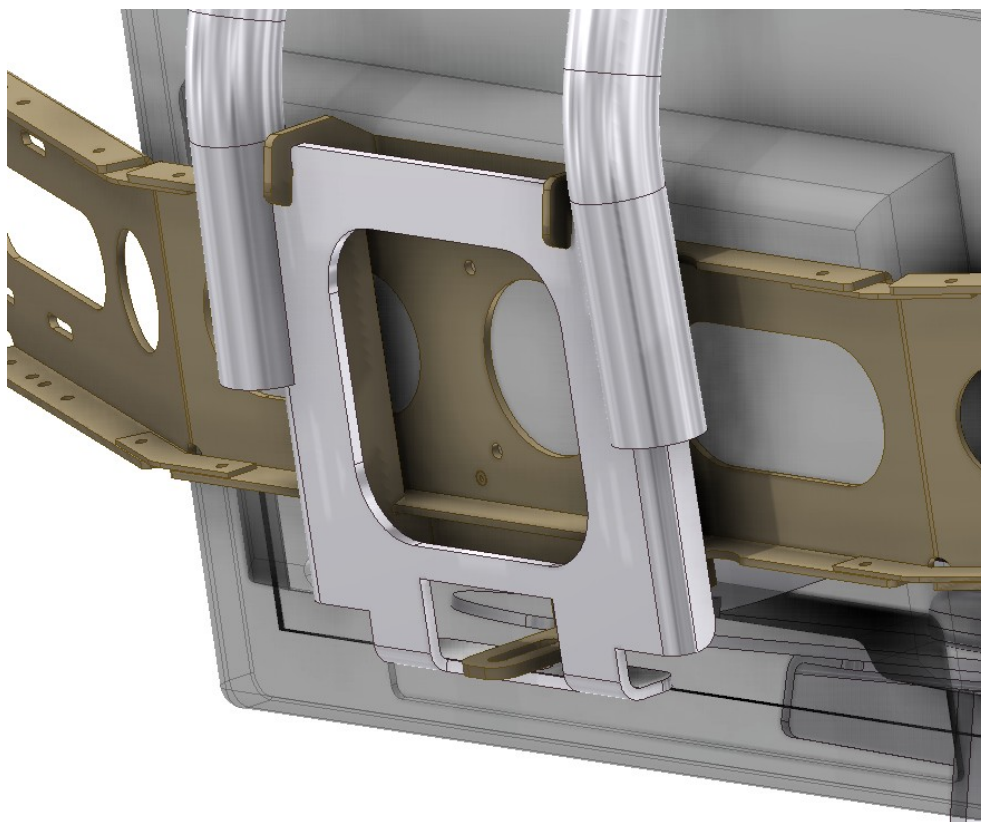
6 組み立て - モニタ・マウント

- 順1 – 付属のネジを使用して、VESAマウント対応モニタ（中央モニタ、非付属品）をモニタ・マウントに固定する。モニタが台座付きの場合は、あらかじめ台座を取り外しておくこと。

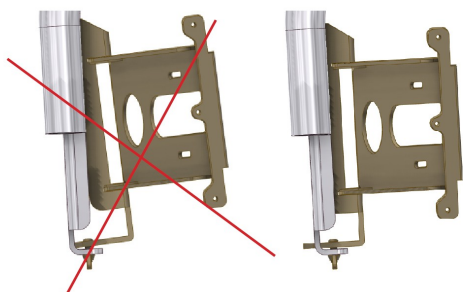
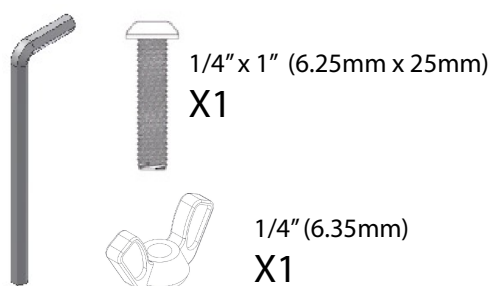


- 順2 – 本体上部を引き下げた状態で、先にそのままにしておいたレッグ・レストとの間の包装を、注意して取り外す。
- 順3 – 本体上部を引き下げた状態のまま、モニタ・マウントのトップを、チューブ先端の専用受け台（次頁参照）に引っ掛ける。



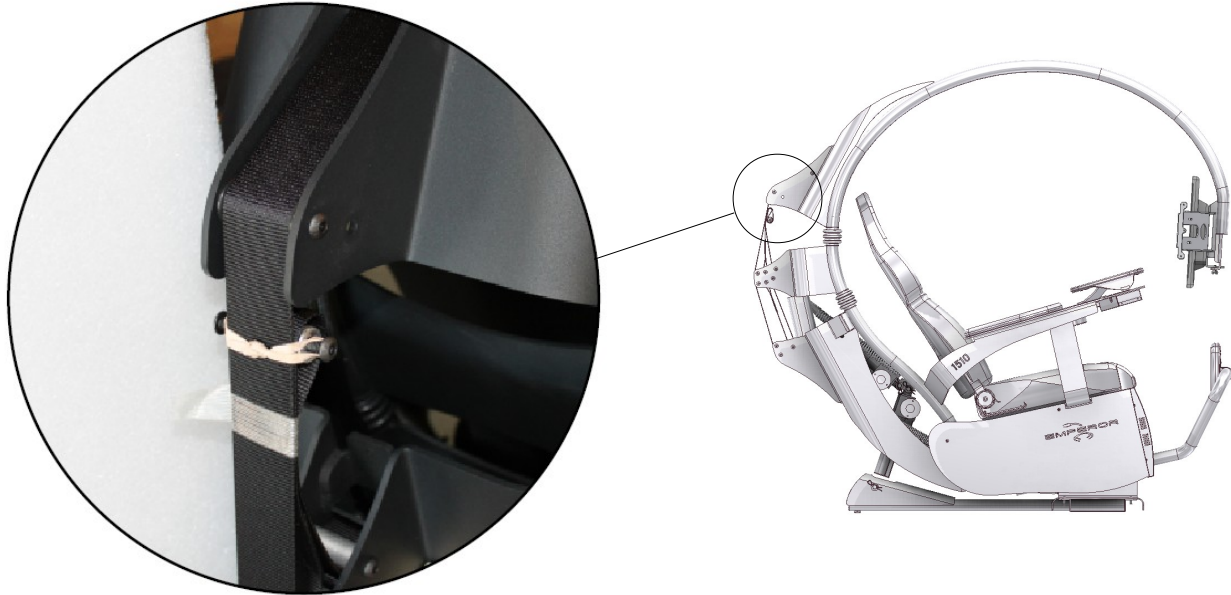


- 順 4- モニタ・マウントが完全に垂直・まっすぐに掛かっていることを確認してから、ネジとナットを使用してマウントをチューブ先端に固定する。

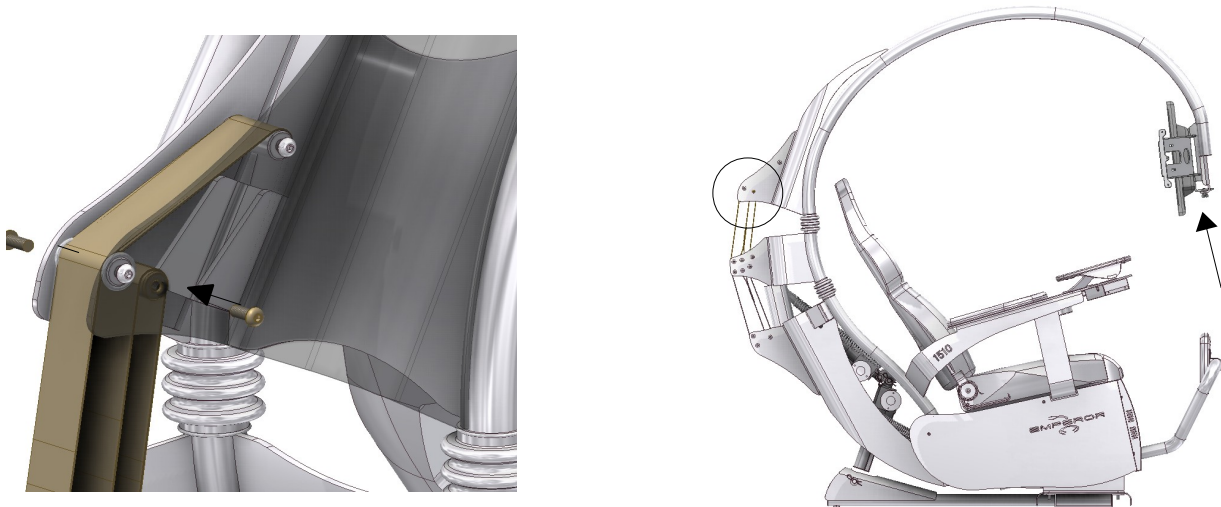


7 組み立て - 【重要】中央骨の接続

- 順1 - アルミ製シリンダーをしっかり支え、テープとゴムバンドをベルトから取り外す。この際、カッターやナイフ等刃物や尖った物は決して使用しない。ベルトが破損すると大変危険です。



- 順2 - アルミ製シリンダーをしっかり支え、両側からネジを取り外す。
- 順3 - 本体上部を引き上げながら、本体上部にある未使用のネジ穴にシリンダーをあわせ、順2で取り外したネジを両側から差し込む。
- 順4 - ネジを二つとも完全に締めて固定する。



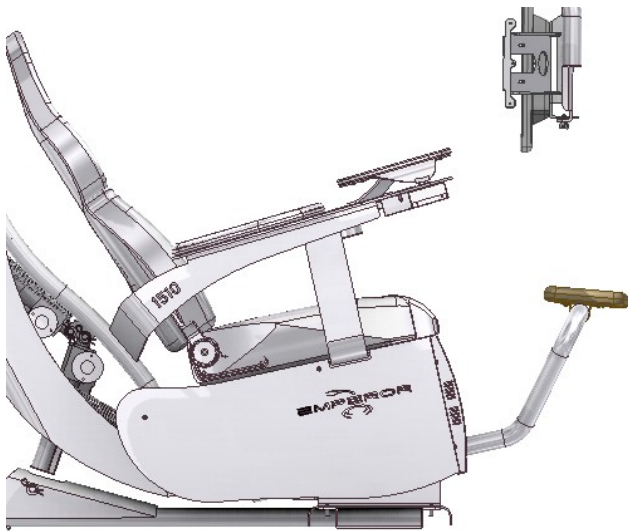
- 順5 - 本体上部をゆっくり引き下げる。

- 順 6 - 本体下部と中央骨との間に差し入れてあるスペーサーを取り外す。



8 組み立て - レッグ・レストの調節

- 順1 - 下図を参照してレッグ・レストの角度を整える。



- 順2 - レッグ・レストがほぼ固定されるところまで、様子を見ながらネジを締める。



9 組み立て – モニタの追加 (3台接続マルチモニタ環境の場合)

- 順1 - モニタ・マウント・エクステンダを、それぞれモニタ・マウントの左右に固定する。
- 順2 - 付属のネジを使用して、VESAマウント対応モニタ (左モニタおよび右モニタ、非付属品) をモニタ・マウント・エクステンダに固定し、角度は好みで調節する。モニタが台座付きの場合は、あらかじめ台座を取り外しておくこと。



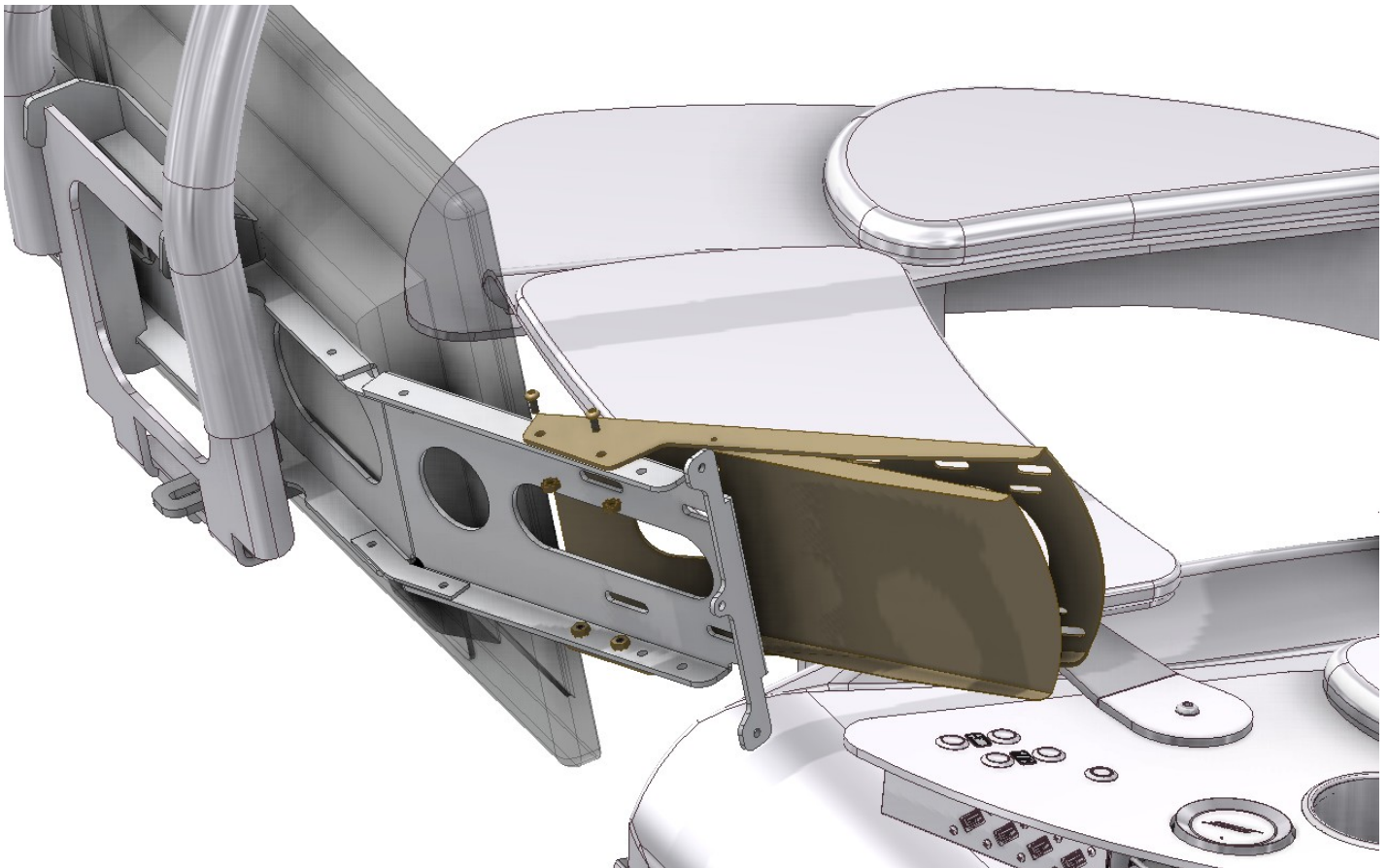
10-32 x 3/8" (4mm x 9.5mm)

X8



10-32 (4mm)

X8



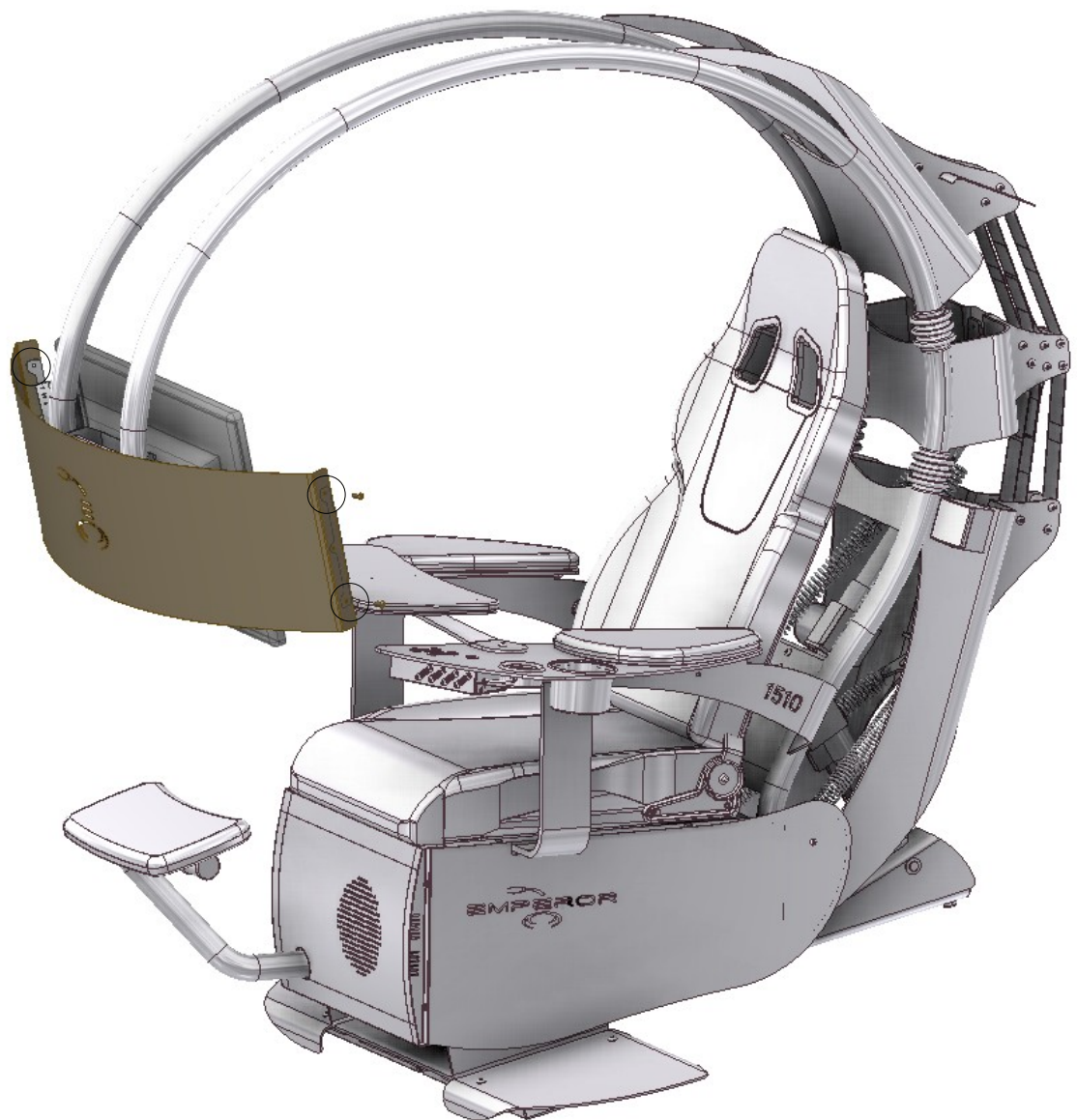
10 組み立て - フロント・プレートの固定

ネジを4本使用し、フロント・プレートをモニタ・マウントに固定する。



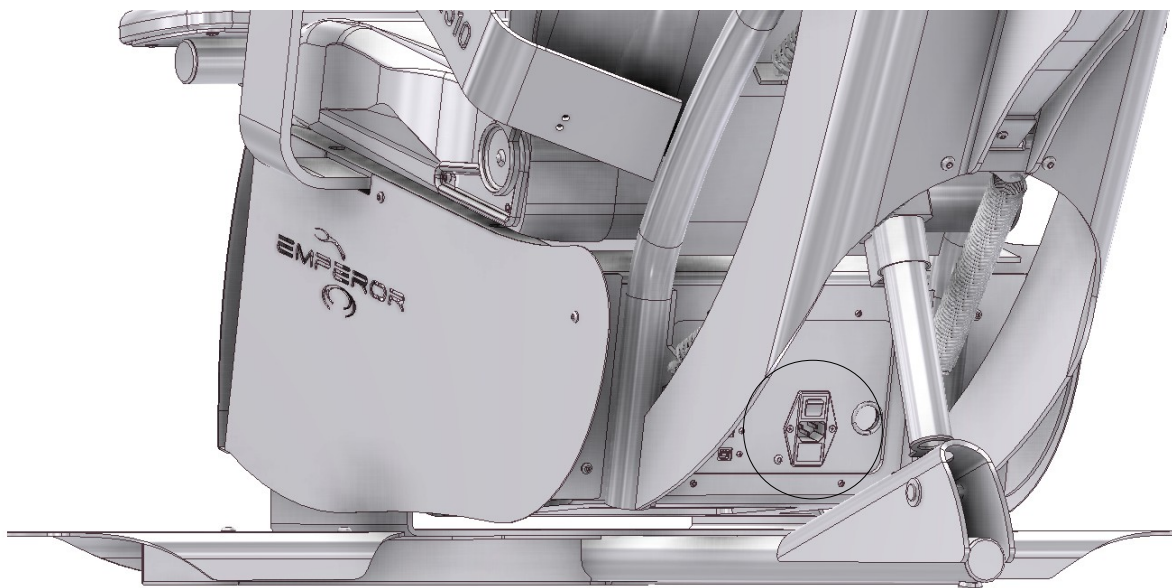
1/4" x 1/2" (6.35mm x 12.5mm)

X4

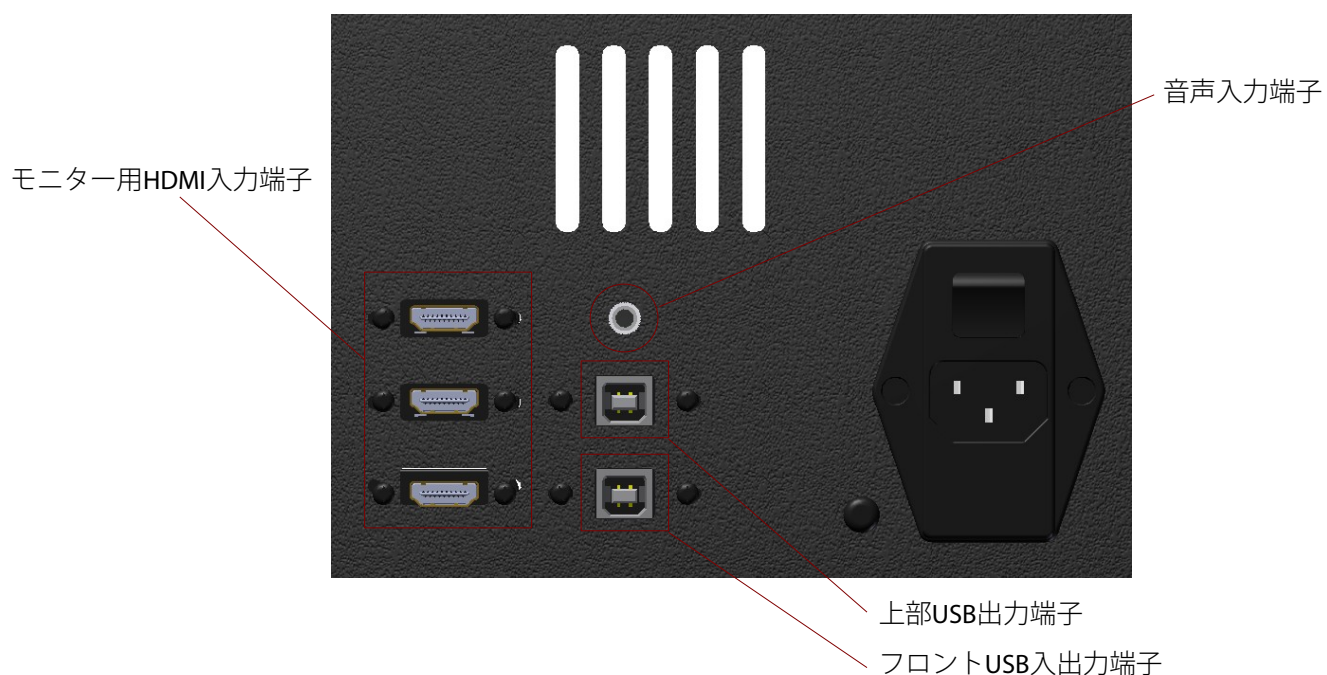


11 Emperor 1510のご使用方法

- 順1 - 座席後部の専用ジャックに、電源コードのピンを差し込む。
- 順2 - 電源プラグをコンセントにつなぎ、Emperor 1510のスイッチを入れる。



- 順3 - ウィンドウズPCまたはMac（非付属品）を、付属のバッグ入りケーブルを使用してEmperor 1510に接続する。座席後部の各端子の入出力・用途をよく確認した上で、ウィンドウズPCまたはMacの対応する端子へ接続すること。





12 メンテナンス

使用100時間毎に、ナイロン・ベルトとストラップの磨耗状態を確認する。何か異常を見つけた場合、直ちにEmperor 1510のスイッチを切って使用を停止し、モダニティ（株）のサポート・センターへ連絡する。

もし安全性情報の更新があれば入手できるように、モダニティ（株）のウェブサイト（www.modernity.jp）を定期的を確認する。

13 サポート・センター

モダニティ（株）のサポート・センターへご連絡頂く際は、あらかじめ、サポートを受けたいEmperor 1510の製造番号、および購入年月日を、お手元にご用意下さい。